

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 福岡県国際文化情報センター
- 2 指定管理者 : 公益財団法人 アクロス福岡
- 3 指定期間 : 令和3年4月1日～令和8年3月31日
- 4 施設設置目的 : 県民に文化の創造と享受の場を提供するとともに、国際的な文化、情報の総合的交流拠点とし、もって県民の生活と文化の向上に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
 - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2) 点検結果 : 別添のとおり

1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要																					
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> 当施設の設置目的を踏まえ、県の文化振興施策に沿った事業展開や安全快適な施設の維持など、更なる利用者サービスの向上に努める。 あらゆる人が等しく文化を享受できる環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動においては、県の文化振興施策に沿った事業を展開し、施設運営では安全管理の徹底と利便性の向上を図り、窓口サービスや接客マナーの向上など利用者の立場に立った一層のサービス向上に努めている。 九州障害者アートサポートセンターと協働した文化芸術活動の支援や、障がいのある人の文化芸術活動の支援、里親家族を対象とした体験型イベントの実施など、年齢・性別・障がいの有無、経済状況に関わらず、あらゆる人が等しく文化芸術を享受できる環境整備に努めている。 																					
②施設利用及びサービス向上	<p>施設サービス（貸館）事業 総合的なサービス強化や、ニーズの把握、営業誘致の強化を通して施設利用を促進する。 (目標施設稼働率 80.0%)</p> <p>文化振興事業 あらゆる人が等しく文化芸術を享受できる環境を整備する。 (目標入場者数 120,000人) (目標事業数 60事業)</p> <p>情報提供事業 地域の伝統文化の紹介や、地域の文化活動を支援する場の提供を行い、また、観光につながるよう、県内各地の魅力発信を行う。 (匠ギャラリー来場者数 100,000人) (「おでかけナビ」アクセス件数 120,000件)</p>	<p>○施設サービス（貸館）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 福岡シンフォニーホール、国際会議場の大規模改修工事後再稼働、新型コロナウイルス感染症に係るイベント開催制限の緩和や感染症対策の徹底により、利用者数、施設稼働率は対前年度比で増加。 新型コロナウイルス感染症に対応するため、会議室利用者等に対し、通常の会議とWeb会議を組み合わせた新しい会議方法や、無観客でセミナーを開催しWeb配信する運営手法を提案し、利用促進を図っている。 窓口や電話対応等を通じて寄せられる利用者ニーズを把握し、サービス向上を図っている。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>利用者数</td> <td>: 354,051人</td> <td>(対前年度+28.9%、対R1年度△51.0%)</td> </tr> <tr> <td>施設稼働率</td> <td>: 66.0%</td> <td>(対前年度+6.3ポイント、対R1年度△6.1ポイント)</td> </tr> </table> <p>○文化振興事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症拡大の影響に注意しながら、安心安全に最大限配慮をし、質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会を県民に提供した。 「福岡ジュニアオーケストラアカデミー」等青少年を対象とした新規育成事業への取組を強化した。 県内どこに住んでいても、等しく文化芸術を享受できるよう、地域へのアウトリーチ事業に積極的に取り組んだ。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>入場者数</td> <td>: 77,898人</td> <td>(対前年度+128.8%、対R1年度△46.9%)</td> </tr> <tr> <td>事業数</td> <td>: 69事業</td> <td>(対前年度+20事業、対R1年度△8事業)</td> </tr> </table> <p>○情報提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 匠ギャラリーにおいて、伝統工芸品の展示及び企画展や、地域の伝統文化を中心とした講座を開催した。 匠ギャラリーを1階に増設し、カフェ、物販コーナー、多目的スペースを併設した新たな匠ギャラリーを開設した。 アクロス福岡が運営するイベント情報検索サイト「アクロスおでかけナビ」において、音楽や舞台芸術イベント等を積極的に配信した。 「クラシックふえすた」等の音楽イベントにおいて、地域の観光PRとなるコンテンツを活用したステージパフォーマンスを展開する等、音楽と地域文化の連動した事業に取り組んだ。 より多くの言語に対応できるよう、窓口にてAI翻訳機を導入した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>匠ギャラリー来場者数</td> <td>: 24,480人</td> <td>(対前年度△59.2%、対R1年度△71.6%)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※リニューアルのためR4.6.27～R5.3.25まで休館</td> </tr> <tr> <td>「おでかけナビ」アクセス件数</td> <td>: 51,349件</td> <td>(対前年度△14.2%、対R1年度△53.4%)</td> </tr> </table> 	利用者数	: 354,051人	(対前年度+28.9%、対R1年度△51.0%)	施設稼働率	: 66.0%	(対前年度+6.3ポイント、対R1年度△6.1ポイント)	入場者数	: 77,898人	(対前年度+128.8%、対R1年度△46.9%)	事業数	: 69事業	(対前年度+20事業、対R1年度△8事業)	匠ギャラリー来場者数	: 24,480人	(対前年度△59.2%、対R1年度△71.6%)	※リニューアルのためR4.6.27～R5.3.25まで休館			「おでかけナビ」アクセス件数	: 51,349件	(対前年度△14.2%、対R1年度△53.4%)
利用者数	: 354,051人	(対前年度+28.9%、対R1年度△51.0%)																					
施設稼働率	: 66.0%	(対前年度+6.3ポイント、対R1年度△6.1ポイント)																					
入場者数	: 77,898人	(対前年度+128.8%、対R1年度△46.9%)																					
事業数	: 69事業	(対前年度+20事業、対R1年度△8事業)																					
匠ギャラリー来場者数	: 24,480人	(対前年度△59.2%、対R1年度△71.6%)																					
※リニューアルのためR4.6.27～R5.3.25まで休館																							
「おでかけナビ」アクセス件数	: 51,349件	(対前年度△14.2%、対R1年度△53.4%)																					

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 実施目的を明確にして事業を行い、事業・経営の評価を定期的に行うことで、効率的な運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用促進のため、大学や関連団体等に働きかけ、景気に左右されにくい医学会、国際会議の誘致に取り組んでいる。 学会、国際会議開催件数：19件（対前年度+10件、対R1年度△49件） 新型コロナウイルス感染症に係るイベント開催制限の緩和や感染症対策の徹底により、利用料金収入が対前年度比で増加している。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 利用料金収入実績：400,481千円（対前年度+55.6%、対R1年度△25.6%） 県委託料（指定管理料）：358,161千円（対前年度△23.8%、対R1年度+16.2%） ※上記委託料は、改修工事による休館や感染症拡大に伴う補填を含む。 </div> 文化振興事業については、感染症拡大の影響に注意しながら、廉価なコンサートや参加型事業など公益性を重視した事業と、人気アーティストや著名楽団等、収益が見込める事業をバランスよく実施している。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営や各事業を着実に実施するための人材、職員体制を確保する。 自主財源比率を確保しつつ、経営効率化を進め、財政基盤を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を備えた人材を確保し、施設の管理運営、文化振興事業等の確実な実施に必要な組織体制である。 借入金がなく、健全な財務体質を維持している。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 安全対策、危機管理対策の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 防火防災対策として、ビル管理会社と共同で火災・地震発生時の初動対応訓練を実施している。 日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向け、小グループによる防災研修などの取組を実施している。

2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当施設の設置目的を踏まえ、質の高い芸術鑑賞の機会提供に加え、地域と連携したコンサートの開催といった文化振興事業を実施している。 地域で様々な文化活動を行っている方々へ発表の場を提供するとともに、ホームページ、SNS等の媒体を通じて伝統工芸品や演劇などの魅力を情報発信している。 防災訓練などの安全管理を徹底するとともに、高齢者や障がい者が施設を利用する際の職員による誘導・介助など、利用者サービスの充実に努めている。 新型コロナウイルス感染症に対応した会議運営手法を提案するなど工夫を凝らし、積極的な営業活動に取り組んでいる。 <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの適切な運営が行われている。</p>
---	--